

7月15日(土) Science Conference in Hyogo

ポートアイランドの神戸大学総合研究拠点コンベンションホールで、第3回サイエンス・カンファレンス in Hyogoが開催されました。この大会は、兵庫「咲いテク」事業推進委員会の主催で、県内SSH校を含め、9校の高校から33の発表が行われました。

○ 参加校

神戸高校、東灘高校、尼崎小田高校、三田祥雲館高校、明石北高校、龍野高校、豊岡高校、武庫川女子大学附属中学校・高校、Kanadian Academy

Learning Science through Englishがコンセプトで、発表も質疑応答も全て英語で行われます。そのため、本校のOba先生、Emiko先生はじめ、各校から全部で14人のALTの方が協力してくださいました。もともとの発案はOba先生だったそうです。

(兵庫県では、理数に関する学科などを設置している高校のために理系のALTも配置しています。本校のOba先生は物理、Emiko先生は数学が専門です。)

総合理学部先生方や各校のALTの方、咲いテク委員会の先生方、引率の先生方、関係の方々には準備から運営、また生徒の指導等々、大変ご尽力頂きました。本当にありがとうございました。

○ 当日の日程



10:30 開会式

司会は、本校ALTのOba 先生です

10:40 特別講演

理化学研究所Science Technologiesユニットリーダー 工樂樹洋先生

「How can genome science assist our understanding of life and nature」

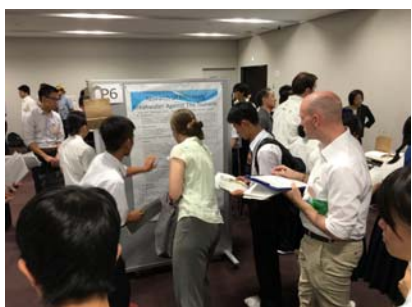
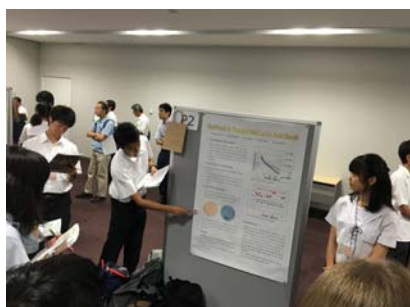


講演はもちろん、質疑にも英語で答えていただきました

12:10～ プレゼンテーション

○ 神戸高校生の発表

- ・透明導電膜の作成
- ・津波に対する有効な防波堤の研究
- ・ミカン栄養成分と乳酸菌
- ・ファインバブルがウキクサに与える影響



ALTも質問していました

○ 参加した生徒の感想（一部）

「校内ではこのような機会が少ないので、刺激になった。これからも続けて欲しい。」

「質問の意味が理解でき答えも浮かぶのに、英語でどう表現すればよいのかわからず悔しかった。」

「説明に because とか though といった副詞が入ると聴こうという気になり、今後の参考になった。」

14:55～ 講評 閉会式

兵庫県教育委員会事務局高校教育課の松本久永主任指導主事、神戸大学大学院システム情報学研究科臼井英之教授のお二人からご講評いただきました。

ありがとうございました

15:15～16:00 science Cafe 「Science Friendship Project」

※この企画は、公益財団法人ひょうご科学技術協会の「サイエンスフレンドシップ事業」として行われました。

高校生が、大学生や大学院生から大学生活や研究室のことなどを聞きながら進路選択の参考にしてもらおうという企画です。



飲み物、お菓子もあり、リラックスしながら話ができます



工楽先生にも参加していただきました